

原発労働者の労働条件改善！ 賃上げと労災補償を！2026春闘行動

4月22日(水) 2026春闘集会

会場：文京シビックセンター区民会議室 5階 C

18:15開場 18:30開始

資料代 500円

- ★4・22春闘行動報告
- ★福島第一原発被ばく労災あらかぶさん裁判報告
- ★当該からのアピール

★講演：片山夏子さん（東京新聞記者）

福島第一原発事故から15年
～作業員の労働環境はどう変わったか～

片山夏子さん

東京新聞（中日新聞東京本社）の福島特別支局記者。
化粧品会社の営業、ニート、埼玉新聞に。埼玉新聞で、出生前診断の連載「いのち生まれるときに」でアップジョン医学記事賞の特別賞受賞。その後、中日新聞社に入社後、臓器移植問題や原発作業員の労災の問題などを取材。東日本大震災翌日から原発事故の取材し、2011年8月から作業員の日常や家族への思いなどを綴った「ふくしま作業員日誌」を事故から15年となる今も連載中。連載に作業員1人1人の9年間を加筆した書籍「ふくしま原発作業員日誌～イチエフの真実、9年間の記録～」(朝日新聞出版)が講談社本田靖春ノンフィクション賞と早稲田ジャーナリズム大賞の奨励賞など3賞受賞。



被ばく労働を考えるネットワーク

東京都千代田区外神田6-15-14 外神田ストークビル502号
tel.090-6477-9358 (中村) e-mail: info@hibakurodo.net

<https://sites.google.com/view/hibaku/>
郵便振替:00170-3-433582

あらかぶさんの話を聞く会情報—お近くの方は是非！

- ★ あらかぶさんの話を聞く会 in 愛媛 3/28(土)13:30～ 愛媛県美術館講堂
- ★ 特集上映&避難者トーク「3.11を改めて考える～原発問題を中心に～」 3/15(日)13:15～ @シアターセブン (大阪 十三) 「未来への決断～ノーモア原発～」上映 & あらかぶさんのお話・交流

原発労働者の労働条件改善！ 賃上げと労災補償を！2026春闘行動へ！

日中：春闘 申し入れ行動予定

竹中工務店は都労委命令に従い、団交に応じろ！

- ① **13時半～ 竹中工務店 東京本店前**
江東区新砂1-1-1（東西線 東陽町駅から徒歩3分）
- ↓
- ② **15時頃～ 経済産業省** 千代田区霞が関1-3-1
- ↓
- ③ **16時半頃～ 東京電力本店** 千代田区内幸町1-1-3
- ↓
- ④ **18:30～ 春闘集会**へ（文京シビックセンター）



2011年10月から、東京電力福島第一原発事故の収束作業や、九州電力玄海原発での作業に従事していたあらかぶさんは、2014年1月に急性骨髄性白血病になりました。白血病は幸い緩解しましたが、死への恐怖からうつ病を発症し、現在も闘病中です。被ばく労働が原因であるとして、労働基準監督署（国）が労災を認定しましたが、東京電力は「収束作業と白血病発症に因果関係はない」と否定。2016年あらかぶさんは東電・九電を相手に損害賠償請求裁判に起ち上がり、現在も係争中です。「裁判は自分一人のためではなく、同じように原発で働き、同じように苦しんでいる労働者のために勝ちたい」と考えるあらかぶさんは、原発関連労働者ユニオンにも加入し、裁判支援を訴えると共に、自分の経験を様々な場で語るなど取り組んできました。

裁判が長期化する中でユニオンは、当時の詳しい作業内容や、線量管理など安全衛生対策状況を知るために、2022年元請の一つである竹中工務店に団体交渉を要求しました。しかし竹中工務店は、直接の雇用主ではない、10年以上も前の話だ、などの理由で団体交渉を拒否。ユニオンは、団交拒否は不当労働行為にあたるとして東京都労働委員会に不当労働行為救済申立てを行いました。2025年1月、東京都労働委員会は竹中工務店に対して「団体交渉に応じなければならない」という命令を下しました。これは大変画期的なことでした。それでも竹中工務店は、命令に従い団交の席につこうとはしないばかりか、驚くべきことに東京都に対して、命令取り消しを求める訴訟を起こしてきたのです。現在も係争中です。

労働者の命を使い捨て、話し合いも頑なに拒否する竹中工務店、そして被害に苦しむ住民や労働者をないがしろにしながらかつて原発再稼働に踏み切る国や東電に対して、皆さんも共に声をあげてください！

